1月11日 火曜日 10日発行
昭和30年西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第2973号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号）（中華民国郵政認為第二類新聞・内政内警証登報僑内台警字第0136号）

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話（代表）京橋（56）8646 （直通）販売（〃）0437広告（〃）3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話代表芝（43）1163番 東京振替貯金口座 170071番

あすの暦 1月11日・火 12月18日
今晩 北西の風晴、一時曇
明日 北西の風やや強く晴
天気予報

4 版

米の太平洋防衛策

原爆使用も準備

沖縄、グァムに貯蔵？



ラドフォード議長

【ホープライトUP副社長記】外交消息筋が十日UP通信に語ったところによると、米国は日本、韓国、フォリピン、台湾など太平洋の反共諸国を共産主義者の侵略から護るためには原子兵器を使用する用意があるといわれる、これらの消息筋はこの際どのような種類の兵器が使用されるかを明かにしなかったが、米国としては必要ならば、どのような種類の原子兵器でも使用する意図をもっているものと推測される

このほど極東を視察したラドフォード米統合参謀本部議長は、共産側が朝鮮で新たな侵略に出る場合米国としては韓国を守るため原子兵器を使用するだろうと述べている、また米国はアジアに原子兵器を貯蔵しているのではないかとの推測がときおり出ているが、いままで正式に当局から確認されたことは一度もない、しかしこの中でグァム島と沖縄とは原子兵器とくに原子爆弾を貯蔵している可能性があるといわれている ともかく米国は日本、韓国、フォリピンおよび国府と相互防衛条約を結んでおり、これらの国々が攻撃された場合米国は直ちに行動にでることができるわけだ、米国が太平洋の友好諸国を守るためには原子兵器を使用する準備があるとの報道は、最近ワシントンの原子力関係当局が『原子兵器はいまは全米軍の標準装備になっている』と述べたあとですぐに行われたものである

さらに消息筋によると東南アジア防衛条約によって保護される地域に攻撃が加えられた場合、米国は原子兵器の使用方を申出るだろうといわれる（なおこれはインドシナ地域を暗に指したものである）（UP＝共同）

ラドフォード議長帰国 【ロサンゼルス九日発AP＝共同】極東諸国の視察を終えたラドフォード米統合参謀本部議長は九日ホノルルから海軍輸送機でロサンゼルスに帰着した、同議長は十日空路ワシントンに向い、視察の結果を政府首脳に報告する

常備軍は設けぬ
SEATO 米英意見一致

【ロンドン九日発UP＝共同】信頼すべき外交筋が九日言明したところによると、東南アジア共同防衛条約機構（SEATO）には、北大西洋条約機構（NATO）がもっているような大きい常備軍をもたすことは見合せることに米英間で原則的に意見が一致したといわれる、これは米国のもつ機動的攻撃力を主体とし英、濠、ニュージーランドの東南アジア派遣兵力と組合せたものに依存することになったためとみられている また米英両国は東南アジアにおける共産主義者の破壊活動に対処するための政治的経済的措置に軍事的措置と同様の重要性を与えることに意見が一致したものとみられる

第一回SEATO会議は二月廿三日バンコックで開かれる予定であるが、官辺筋ではこの会議を前にして同機構にかんする米英間の意見の食い違いを調整するため両国間の交渉が最近数週間ワシントンで行われていたことを明かにした この食い違いは昨年米国がアジアにおける強力かつ広汎な軍事機構を唱えたときに生じたもので、今回の交渉の結果、歩み寄りをみせ原則的了解に達したものである

濠農相 日本漁船問題で再声明

【シドニー九日発ロイター＝共同】最近オーストラリアの近海で日本漁船が"不法操業"していると伝えられ、関係者のなかからこれらの日本漁船を政府が捕獲ないし処罰すべきだとの声が上っているが、同国のマッキューイン農商相は六日に引続いて九日ふたたび次のような強硬な声明を発表してこれを反論した

オーストラリア政府が領海三哩以遠で出漁する外国漁夫を取締る権限をもっているというのは暴論だ、もしこんなことをいえば世界の漁業国から非難される

解散『七条』が筋道

緒方総裁談 わが党中心に保守合同

【沼津発】緒方自由党総裁は九州地方遊説のため木村前防衛庁長官犬養健氏らを伴い十日午前九時東京駅発の特急"つばめ"で西下したが、車中同行の記者団と会見

一、保守合同は自由党が主導権をとらねばできない

二、民主党とは政策的に変りはないのだから分れているのはおかしいので、やがては大半が帰ってくると思う

三、連立ということは考えていない

四、自由党が第一党になることは間違いない

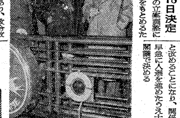
五、憲法第七条をもって政府が解散するのが筋道だ

と語った、談話の要旨つぎのとおり

一、民主党とは別に対立するものがない、民主党の政策はかつての新党準備会の政策でほとんど変らず"自由党版"だ

一、選挙の結果がどうなるかは簡単にいえないが、いままでの経緯から考えて、民主党の大半の者はやがて時間が立つとともに本家である自由党に帰ってくると思う、日本の政界をあるべき姿に整えるためには、こういう形において保守勢力が結集されることを予想している、民主党の岸、芦田、石橋氏はいまでも保守党が分れているのは不自然だといっており、好むと好まざるとにかかわらず保守勢力は結集しなければならないというのが大勢だと述べたが、松村謙三氏のように保守二大政党論者もおり、合同に当っては総選挙後も昨年同様ゴタゴタが続くだろう

一、解散については、解散決議案などあり得べきではない、憲法第七条をもって解散するのが筋道である



東京駅発つばめ展望車で西下する右から木村、緒方総裁、犬養の各氏

左社の統一決議案成る

両社政策小委に提示

左右両派社会党は十日午後五時から九段の衆院宿舎で両社合同政策小委員会を開き、統一に関する共

時期である

一、資本主義、ファッシズムと闘うとともに共産主義と明確な一線を画し広く社会主義勢力の結集を企てる

一、今回の総選挙を通じ社会党政権を樹立するとともに、総選挙後合同を実現する

などを骨子とするもので、同夜の小委員会で右社と調整、最終案を作成、十二日左社、十四日右社の中央執行委員会に諮り、十八日の党大会に提出する方針である

同決議の案文内容を中心に協議するが、これに先立ち左社は同日午前十一時から衆院副議長室に伊藤勝闘田、岡田、亀田氏らが会合、共同決議の左社案の作成を行った 左社案の内容は

一、両社合同はMSA再軍備に対抗し、保守政権を打倒する内外の要望に応えるものである、そしていまこそ統一実現の歴史的

浅井総裁、首相訪問 浅井人事院総裁は十日午前九時小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪問用談した

経済懇談会

『最高会議』を変更 18日決定

政府は経済総合計画の立案調整に民間の権威者の参加をもとめるため総理大臣諮問機関として内閣に経済最高会議を設置する方針であるが、この名称を『経済懇談会』と改めることになり、関係当局で早急に人選を進めたうえ十八日の閣議で決める

農民・勤労者 文化関係者
『黄綬』と『紫綬』
根本官房長官談
新褒賞制度の構想

根本官房長官は十日午前の記者会見で褒賞制度について次のように語った

勤労者、農勤労者、農民にたいする褒賞制度は関係事務当局で検討中でまだ結論を得ていないが、大体の構想は従来の四褒賞のほかに新たに黄綬、紫綬の褒賞を加える方針であり、政令改正で出す場合には黄綬は農民と勤労者に、紫綬は文芸、音楽など文化方面に功績のあったものに授与したい考えである

対外経済関係教書

ア大統領 あす議会提出



【ワシントン九日発共同】アイゼンハワー米大統領（写真）は十日正午（日本時間十一日午前二時）議会に対外経済政策にかんする特別教書を提出する、この教書の中で大統領は互恵通商協定法の三年延長および、この三年間に関税を十五％引下げる権限を要請するものとみられる

大統領は十日朝共和党幹部をホワイト・ハウスに招き、特別教書を内示して意見を聞き、引続きホージ大統領経済顧問、バーンズ大統領経済諮問委員長と会見、国際通商問題一般について話合う予定である

総選挙戦の展望

埼玉県

松永東氏の衆議院議長就任は、民主党の地盤のほとんどない県政界に新たな地歩を与えることになった、しかし民主党支部結成にあたっては県議四、五名を除き日和見的で、自由党県議団も中央情勢が確立するまで静観することを申し合せている、旧改進と旧日自の主導権争いもあり、組織の確立は早急には望み薄すなので、自由党の人気が退潮にあるとはいえ、また自由党の牙城はゆるぎそうもない

民主は人材難でコマがそろわず、選挙後の自民の比率は七対三と予想されている、革新系は右社が容共派を拒み、左社は『共闘は同一歩調、選挙対策は別行動』を唱えているため両社の統一は早急に望めない、人気は左社一、右社三の割合

断然つよい現役組

第一区・定員四名

前官房長官福永健司（自現）、衆院議長松永東（民現）、川島金次（右社現）、井堀繁雄（右社現）の現役四氏が有力、とくに福永、松永、川島の三氏は当確とみられている、ボーダーライン組としては大泉寛三氏（自元）がおり、新人では重光外相秘書吉岡羽一（民）、県議高橋八郎（自）、中央選管委員柏正男（左社）、宮岡義一（労）、藤間生大（共）、只松祐治（左社）、川口市長の高石幸三郎（無）、前浦和市会議長大石信三（自）の諸氏がウワサにあがっている、このうち大石氏は地元浦和に相当強固な地盤を持っているので有力なダーク・ホースとみられている

自由対革新派の争い

第二区・定員三名

自由党は山口六郎次、松山義雄の二現役に横川重次、平岡良蔵（元）の四氏を出馬させ独占を狙っている、これに対し民主党は候補者難で出足がおくれており、前回次点の平岡氏か横川氏に入党を勧めているが果して成功するかどうか、革新系からは平岡忠次郎（右社現）師岡栄一（左社元）両氏が出馬するほか、牛窪宗吉氏（共新）も出る予定なので自由党対革新陣営の争いとなろう

候補者難の民主

第三区・定員三名

この区も民主党は候補者難で、僅かに小菅一光典（新）と磯田正則（元）の二氏がいるが自由党の荒船清十郎、松崎朝治（現）阿左美広治、貫井清憲（元）四氏の豊富な持ちゴマに比べると劣勢は覆い難い、このうち荒船氏は最有力、革新系では杉村沖治郎氏（右社現）が当確、そのほか高田富之（左社元）立憲養正会の関庭信一（新）岡正吉（新）の三氏も出る

自民両派の激戦

第四区・定員三名

こゝも革新陣営に大物候補がいないので、自由対民主の争いに終る公算が強い、自由党は青木正、佐瀬昌三の現役二氏、民主党は通産政務次官の山本勝市（現）、古島義英（元）の二氏だが、この四氏はほとんど互角だけにすさまじい激戦となろう、保守党の優勢に比し革新系は劣勢だが元参院議員原虎一（右社）、梅沢一郎（左社）白石敏夫（共）、渡辺善寿（右社）の新人四氏が出馬する

粋人酔筆



風土記のロマンス

矢野目源一

常陸国に乙女の松原というところがあります。これには美しいロマンスの由来があります。昔、年若いハンサム・ボーイがあって、その名を那賀のミノダ君といい、女を海上のアゼ嬢といいました。両方ともまことに美しい少年少女でありまして、その評判はその地方で誰一人として知らないものはない位でありました。少年も少女もお互にその評判をききまして、いつとはなく一度逢いたいものだと思うようになってくるのも不思議ではありません。それが娘十六、恋心とかいいまして妙齢になるにつれて見ぬ恋に憧れ、日暮れになると涙が出るのよ、知らず知らずに泣けて、

何が何して何とやら
ヤァトナァ ソレ ヨイヨイヨイ

くるのよという多感な心境に成長して参ったのであります。

そして月たち日をかさねておりますうち、嬥歌の催し、俗にこれは歌垣と申しまして、後世の盆踊りの夜のようなものが、一年に一回あるならわしがありました。この夜ばかりは性の開放の一夜でありまして、人妻でも娘でも自由な振舞をしても天下御免の定めで、大変な人出であります。或る年のそうした嬥歌の夜に、この二人は偶然に出会いました。今の盆踊りならば、若い者が円陣を作りまして、

などと歌い踊った後で鎮守さまの森の木の下闇にでも消えようという寸法でありますが、この時代にはレコード会社お抱えの詩人先生などというものはおりませんから、自分で歌を作って口説かなければなりません。気に入った相手が見つかると、つまり心意気を歌にして問答いたします。風土記の歌は今の読者にはお耳ざわりでありますから、くだけたところでご免を蒙りますが、男の方で、

膝にもたれて 顔うち眺め
こんなにお前に なぜ惚れた

と歌いますと、女の方でも、

惚れちゃいるけど いい出しにくい
あなたの手出しを まつばかり

というようなわけで、もっとしんみり『語らまく欲りして、人の知らむことを恐れ、遊の場より避けて、松の下に蔭り、手をたずさえ、膝を近ずけ、思いをつらね、憤を吐く』という事情と相成りました。



それから先のことはピリカメノコとハンサム・ボーイよろしくご諒察下さい。とにかく昔から恋い焦れていたことです。睦言の尽きるところを知りません。

『時に玉の如き露、梢にうかがい、秋風の時なり、皎々たる明月の照らすところ、西の洲に啼ける鶴あり、山は寂寞として岩の景古り、夜は蒼涼として煙れる霜新なり、近き山にはおのずからもみじ葉の林に散る色を見、遙けき海にはただ蒼波の磯にたぎつ声をきくここにこの宵あり。楽しみこれより楽しきはなし。偏に語らいの甘味に耽り、夜の闌けなむとすることを忘る』と書かれてあります。

この文章は昔の県知事、国造の報告書の一節なのですから、現代の民選知事の泥くさいのなんぞ、はずかしくて死にたいでありましょう。そうしているうちに鶏がないて犬が吠え夜はまったく明け放れて、うらうらと天日が輝くのが何となく黄色く見えます。美少年と美少女は途方にくれて、人に見られるのが恥しく、遂に松の樹と化したというのでありますす。男の方を奈美松といい、女の方を古津松というとあります。哀れにも美しい物語でありますが、あまり長居をすると尻から根が生えるという言葉は、このあたりから出たものでありましょう。

現代ではこのあたりが海水浴場になっているそうです。二人の若者が、さっきから水着姿の女達にみとれています。そのうちの一人はひっきりなしに唾をはいております。

『オイオイ、どうしたんだ、何故そんな風に生唾ばかり吐くんだ。気持でも悪いのかい』

『イヤ、済まん済まん、口の中が砂だらけだもんだから』

『君ァ、この風にポカンと口をあけているからだよ』

『そうじゃないんだよ、家内のやつが、きのう一日中海浜に座ってやがったんでね』

東京株式仲値
□新株落△配当落
（10日前場終値）

特定銘柄		日本曹	64	三菱化	124	カボン	60
東海上	293	旭電化	79	旭化成	293	三井物	180
郵船	94	三菱造	80	山陽パ	89	第一物	107
新重工	一	三菱重	70	日本パ	85	白木屋	一
日清紡	274	石川重	93	国策パ	84	高島屋	88
味の素	298	神工	136	東北パ	97	日活	95
三越	309	東洋ベ	116	大東紡	79	松竹	210
平和不	410	三井造	105	商船	62	東宝	1410
		日立造	49	三井船	62	大映	188
三井金	99	浦賀	51	飯野海	55	日清粉	159
三菱鉱	89	日平	38	西武	359	日麦酒	175
日鉱	70	古河電	80	藤田興	224	朝麦酒	195
住友金	88	東芝	80	東京ガ	85	キリン	203
三菱鉱	52	三菱電	100	東電	440	宝酒造	87
古河鉱	70	日立製	80	日銀	2760	野田醤	362
同和鉱	92	小松製	71	東銀	80	日本粉	126
住友炭	69	日本光	172	三井銀	70	昭和産	115
三井山	66	東京光	49	富士銀	87	東洋罐	83
北海炭	64	キヤノ	170	日証金	101	合同酒	91
東邦亜	63	日軽金	174	大正海	108	三楽酒	80
日石	88	東洋紡	140	住友海	127	台糖	193
帝石	73	鐘紡	139	安田火	136	明糖	103
昭和石	86	大日紡	87	千代田	93	日水産	79
大協石	161	日東紡	69	鋼管	70	北栄糖	153
東燃	125	片倉	46	日製鋼	73	大阪糖	147
三菱石	94	富士紡	105	八幡鉄	68	森永	255
日東化	73	呉羽紡	88	富士鉄	58	明菓	156
日産化	76	東邦レ	105	神戸鋼	69	王子紙	184
三井化	95	帝麻	70	日特鋼	138	十条紙	204
東合成	94	中繊	60	日金鋼	53	本州紙	89
信越化	79	帝人	130	日セメ	145	三菱紙	98
協和醗	113	東洋レ	158	小野田	85	北越紙	55
東高圧	105	三菱レ	124	磐城セ	277	三井不	850
昭電工	76	倉レ	80	横浜ゴ	193	三菱地	514
				旭硝子	151	三井倉	110
				富士島	182	渋沢倉	142
				小西六	105	東洋埠	225

市況
特定株中心に一段高

週明けは引き地合好調で仕手株、準仕手株中心の買気が活発に動いているため全般の市況は雑株の一服にかゝわらず依然強調をあらためない、特定株は増資接近の平和不が一段踏み買をそゝつて四百十円と高値をつけ、軒並み五円内外高、雑株は金ヘン、海運、化学、電源株なし先騰したものは強含みに保合っているが、日銀がさらに百十円高と買われて連騰したほか不動産、商事株中心に品薄株に買気続いて十円内外から六十円方続進するもの多く、全般にほとんど安いものなしの好調な場面を続けている

▽高い株 日銀百十円、東宝六十円、西武、服部時計十四円、野田醤油、福物産十三円、菱地所十一円、日鉄鋼、藤田興、白煉、東洋埠九円、住友商、日証金八円、福商事稀本チエーン七円、いすず、東洋鉛業、化工八、三井物、松竹倉レ、東海上六円、東邦レ、富士通平和不五円

内外抄

英国の旗の下で北洋へ出漁させぬと決る。『わが国旗の下に死なん』の意気いまいずこ。

◇

日比賠償問題にからむ比国政界の汚職騒ぎ、日本側の手が動いたとみたらトンダ買い被り。

◇

労働者農民への褒賞制に反対する左翼、『労働英雄』という名の褒賞なら大賛成だろうが。

◇

米兵監禁中に中共と取引きする国をボイコットしようと、マッカーシー旋風も小さくなったもの。

◇

名古屋のパチンコ機械の売れ行きがバッタリだと。『機関銃』で射たれたのが致命傷となるか。

ふいがい川柳 吉田杵司選

否で男と男けりがつき 市川 牛尾 一歩
腹心鍵猫が見ていて恥かしい 川崎 小宮せいじ



モロトフに呼びかけられる國の春 板橋 小山浦之助
撮り直し接吻ならば苦にならず 千葉 松崎 光水
ブッ掛けぬ首相へフラシュ物足らず 中野 宇加 律
【賞】トニー谷めいて小児科よく流行り 大田 鈴木 一正

財界春秋

五島慶太ブーム

三鬼陽之助

このところ、どういう風の吹きまわしか、明けて数え歳七十四歳の東京急行会長五島慶太が出版に、雑誌に、だいぶ騒がれている。昨年十月一日の雑誌『財界』に『箱根山猿蟹合戦』として、時の衆議院議長堤康次郎との箱根山、伊豆半島の攻防戦を伝えられて以来、『ダイヤモンド』誌は石山賢吉老との会談を載せ東洋書館は日本財界人物全集に『五島慶太伝』を出した。さらに『文芸春秋』は前号の永田雅一論に次いで二月号に三宅晴輝をして五島慶太論を書かせている。廿六年八月追放を解除され、古巣の東急会長に返り咲いたが、二、三年は一般には忘れられていた。

彼が、最近、急に騒がれるのは、種々理由があるが、要するに彼が老いを知らぬ企業家で、解除後、急ピッチで東京急行に大活力を与え、傍系の東映を、東急副社長大川博をして完全に立直らせ、さらに廿二億何千万円かの巨費を投じて東急会館を完成させたからである。そして現に東急金融センターをはじめ百数十億円を要する東京―江の島間のターンパイク・ロード（通行税をとる道路）の建設計画を追っている。一昨年春、病気して以来、健康はマダ真物ではなく、朝起きて一時間散歩、昼寝して午後一時ごろ起床といった変則生活だが、臥床の際は枕元にメモをおいて、夜半でも目をさまして考えごとが起きると不自由な手を動かして書付けるらしい。

四十歳前に最愛の夫人を亡くして以来、花柳界における彼の遊びは余りに有名である。彼のために投身自殺した女性もある。『お前達は馬鹿だ。俺の女遊びは羊カンを食うようなものだ。ちからをいれては羊カンの味は判るかい』と、子分の伊藤…郎（東映常務）に訓戒（？）した話など面白い。事業家としては、前記の堤に『ピストル堤』のニックネームがあると同様、彼には『ゴウトウ慶太』の異名がある。いままで、百数十社を創立・買収・合併・横取りしてきたが、この男こそ文字どおり日本における会社王であり、さらに乗取り王と称されよう。

浅草の虫 (64)

濱本浩 作　栗林正幸 画

ヘリオトロープ（八）

十分後。

木枯に追われて来た梧郎は、白い息を吐きながら、新子の部屋の戸口に立った。

『先生？』

部屋の中から、はずんだ声が呼びかける。新子は、待っていたのであろう。

扉の外には、靴脱ぎほどの踊り場があった。美容院の裏木戸から、真直ぐに登る階段の、踊場である。

梧郎は、ドアに背を向けて、ふと耳を傾けた。近くの家のラジオが、懐しいオペラの歌を放送していたからである。

取りつきの屋上に、温泉マークの赤いネオンサインが、光っていた。その右手の白い壁には、この辺の町名に因んだ産婦人科医院の鮮血色のネオンが、堅苦しく取りつけてあった。その隣は、酒の名の桜正宗と、店の名の松ずしが、赤と青との二段構えで光っていた。



ひと昔前までは、格子戸の仕舞屋と、紺ノレンの小店が、ひっそりと片側に影を落していた横町である。

梧郎を引きとめた歌劇『ボッカチオ』の二重奏は、産婦人科医院の高い窓から流れて来るのだ。

それは、花の乙女フィアメッタの歌う、恋はやさしい野辺の花よが、終って、梧郎にも聞き覚えのあるテナーが、颯爽と登場するところであった。

これはやさしい胸の花よ
ほかの想いは
君を見れば消え
恋のやさしい花が咲くよ

夜の街に響き渡るその声は、ついこの間まで、同じ公園のフランス座に出演していた田谷力三に相違なかった。

三十何年も前に、亡き両親と同じ舞台に立っていた、この大先輩は、いまだに当時の美貌と、美声を持ち続けているのである。梧郎は、田谷の舞台姿を見ていると、亡き、ちちははの面影が、ありありと、瞼に浮び、思い出が切なく胸に迫って来た。

『だれ？』

扉をへだてゝ、新子の声が、鋭く誰何する。

『旗野だよ』

婦人科医のラジオは、やがて、フィアメッタとボッカチオの二重唱に移ろうとしている。が、新子は躊躇もせず、ドアを引きあけてせき立てた。

『何をまごまごしてるのさ。はやく、はいってよ』

ストーブで温められた部屋の中には、梧郎にも覚えのある香料の匂いが、ほのぼのと、みなぎっていた。

ふと見ると、この前も新子はこれだけを自慢した、マホガニーの寝台の上に、シャンペン色の婦人外套が、いとも無造作に脱ぎ棄ててあった。

花の香は、この外套から発散されているもののようであった。

『まずいや、お客さんだろう？』

部屋の片隅を仕切った、濃いオリーブのカーテンの向うに、新子が自分の金で、建て増した台所と、水洗便所が、突嗟の隠れ場になることも梧郎は知っていた。が、中国絹のナイト・ガウンを、着流した新子は、さりげなく答えた。

『居ましたわ。さっきまで、先生を待っていましたわ』

グンと増えた堕胎者
裏口から探ってみた女給の生態

五四年の暮から五五年の初春にかけて、都内の産婦人科医は勿論、ヤミ堕胎医の門をたたく堕胎者がぐっとふえているという。胎児の多くは二、三ヵ月のものが多く、一見キャバレー、バーの女給、ダンサー風の廿一、二歳から卅歳前後の者が特に目立ってふえているそうだ。デフレのあおりで、客足もなく、食うためにはたまの酔客に「一緒に帰ろうや」と誘われて、そのまま温泉マーク行き、別れ際にそれとなくポケットに入れてくれる五百円から三千円のプラス・アルファーで辛うじて生活を保っている連中にしてみれば、商売女のように「ゴム製品使ってよ」ということも出来ず、当然の結果として妊娠堕胎、妊娠堕胎がくり返されていくのである。そこで、ネオン街と、堕胎医の裏口から見た、これら女給族の生態を探ってみよう



これもデフレの余波
食う為には一夜の仇情け
トドのつまり手術台へ

○…「"この人は間違いなく女給だ"ということははっきりとは判りませんが、どうもそうらしいと見える人はふえました」と銀座のある産婦人科医は語っている、それら堕胎者の多くが酒がつよく煙草を喫うせいか、麻酔がきかず困ることが多く、こんな例があったという、『先生、いたくないですか?』と、酒気をおびた廿二、三の女がはずかしそうにたずねた、彼女の話だと、初めて常連客と関係を結んだら、厳粛なる事実になってしまったのだという、勿論家に知れてはたいへんなので堕胎したいというのだが、堕すのはこれがはじめて、先生はそこで『大丈夫ですよ、麻酔をかけますから…』と答え、安心した彼女は手術台の上に乗ったという、ところがはずかしいのか、こわいのか、酒気を帯びている上に、日頃から酒と煙草の生活を送っているから、麻酔がよくきかない、手術の途中で、『先生! いたい! いたくないといったのにいたいよ!、ヤブ医者!』と叫んだというのである、ヒロポンを射っていた者も多く、最近はこういう患者が特に目立ってきたのは『見方にもよるが、ネオン街の女給がふえた一つの現われでもあろう』とその医師は語っている

…ダンサーも裏口は深刻

靴下代すら出ない
日収は四、五百円
女給S子の肉体切り賣り

○…さて銀座裏キャバレーの女給S子さん(二〇)はなぜ堕胎をしなければならなかったかを調べてみよう、彼女は店に入ってまだ間もなく、常連客もないところから、いそがしい先輩女給たちに回してもらうヘルプ(客が指名した女給が本番がかかっていて、その指名した客のそばにいつまでも座っていられない時、その女の代りに助だちとして接客すること)の収入一回百円が日に二、三回、相番が一回あればいい方で、日に収入はせいぜい四、五百円、私鉄で通っている関係上、ちょっとでも長っちりの客につき合わされればすぐ電車を落してしまい、二百円位のタクシー代がその稼ぎの中からとんでしまう、アパートに一人住いの身であっても、四畳半のアパートの家賃が月五千円、それに電気料、ガス代、食費などを入れると、月にどうしても一万五千円は最低かかる、一日平均六百円の稼ぎでは洋服も、靴も、化粧品の購入費も出ない始末、週に一回の美容院、月に二足の靴下代も全くの話出ない現状、そこで彼女は、たまたまある問屋の専務と称する男が『送っていってあげよう』という言葉を信じて、店が十二時にひけてから二、三軒屋台店を二人して飲み歩き、お決りの"沈没"、翌朝二人が別れた時には、彼女のポケットには、久しく財布からご無沙汰していた千円札が、それも三枚、くしゃくしゃになった百円札と千円札の間にはさまっていたのだ、月末を前にして三ヵ月たまっている『家賃が払えなければ追い出される』という彼女の窮地を救ってくれたのがその三千円だったのである、キャバレーには、大抵どこにも"肉体派"といわれる貞操の切り売りで赤字補塡をしている女がいる、ずるずるべったりに彼女もその肉体派の一人になってしまった、彼女は昨年中に堕胎すること三回の、あまりほめられない記録保持者になってしまったのである

一家を支えた不幸な女

堕胎費稼ぎに関係・
絞り上げて遊山湯治

○…堕胎費は大抵三ヵ月くらいの場合は二、三千円というのが相場だ、それ以上は一月について千円増と見ればよい訳だが、堕胎を口実に一生懸命貯金帳をふやしている悪どい者もいる、これは銀座のあるキャバレーの女給(二〇)の例だがたまたま同店のボーイと仲よくなっているうちにお腹がふくれ上ってしまった、ボーイは初めから遊び半分で妊娠したという女の話をきいて、女から去っていった、女の家庭には老いた父母と、中学に通っている弟が一人いる、彼女の細腕には家族の者がみんなぶら下っていたのである『堕胎したけりゃ、あたしたちのよく行くところがあるからそこを紹介してあげるわよ』と同輩たちにいわれてもその資金がないのである、たまたま初めて来た客だったが、浮気をしてしまった、そしてくれたチップ二千円で、あと千円というところまでこぎつけた、財布の中の金は出やすい、またたく間にそのアブクぜには消えていった、彼女は次々と新しい男と旅館を泊り歩いた、それでどうやら堕胎費が出来た

一回関係の出来た男は『今日も連れ出してやろう』という下心や友人たちに『こいつは俺の女だよ』と見せびらかそうと自然無理な儀をしぼって通い出すものが案外多い、だから彼女の指名客も自然にふえて

ようやくのことで堕胎費の余裕が出来た彼女は、先輩に『どこか上手なお医者さんはいないかしら』といったと相談した、その時彼女のお腹はちょうど三月目だった、先輩たちは『あんた自腹切って堕すなんてバカの見本みたいよ、あんたと泊った客から一人頭四千円ずつもらいなよ』と教えられた、彼女は名刺入れから名刺をひきずり出して関係を結んだ男に全部電話した、『折り入ってご相談があるの…』そして妊娠したことをつげる、まずこの"妊娠"という言葉をきいて腰を抜かさない者はいない、手ごわい男の場合には『あたしあんたの子供だから堕したくないの…』とやんわり戦術に出た

いったい誰の子供だか判らない胎児のために、六人の男たちはそれぞれ四千円を、彼女の手にそっとにぎらせた、彼女はその残った金で湯治としゃれ込んだそうである、但しこれは一部悪質な女給の話で、ネオン街には純情可憐な女給さんの数は多いのである

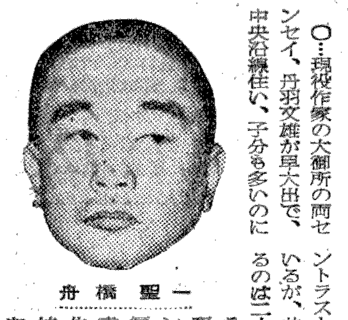
毎年何百万の胎児が闇へ

○…堕胎は優生保護法第十四条によって指定医師の手で、所定の手続きをふまないと出来ないことになっている、統計は古いが廿七年の調査によると人工妊娠中絶は全国で八十万五千五百廿四件で、年毎に増加の一途をたどっていることと、法定手続きをふんでいる者の数字であることを考えると、実際にはこれの数倍に及ぶ胎児が闇堕胎医の手によって闇から闇へと葬られていることになる

艶流世界譚 …(アメリカ)…

シルビアはスカートのホックを静かにはずし、そろそろと着物を脱ぎにかかりました。『しょうがないよ。僕はもうあきらめているんだから』家を出がけにそういって溜息をついた、物悲しい夫の顔が目に浮んできます。螢光燈が青白い彼女の顔を照し出している部屋では、コールマン髭を生やした中年のニヤケ男が一人、ベッドの傍で黙って彼女の動作を見つめているだけです。いくら金のためとはいえ、また夫の許しを受けているとはいっても、夫以外に見せたことのない肌をこの男の前にさらし、肉体の秘密をすっかりさとられてしまうのかしらと思うと、羞恥がカッと顔に上ってきます。ああ、でももう総ては終りです。靴下を取りすべて脱いで、おずおずとベッドの上に仰向けになりました。恥しさと恐ろしさに彼女は両手で顔を覆います。すると、落つき払った男の声が聞えてきました。『もう用意が出来ましたね。なに、心配は要りませんよ。まだ二ヵ月だから手術は簡単です』

初場所 遊び取組 ①



舟橋聖一

共通は肥軀量産型
ほどほど遊ぶ丹羽文雄=80点
ノゾキ趣味の舟橋聖一=90点

○…現役作家の大御所の両センセイ、丹羽文雄が早大出で、中央沿線住い、子分も多いのに対して、舟橋聖一の方は、赤門出で、山の手御曹司、子分一人も無し、という面白いコントラストを示しているが、共通しているのは二人共よく肥えた体軀を駆って、ペンダコをつくりながら編集者泣かせの達筆で書き下ろす小説の大量生産ぶりである。こう忙しくては遊ぶヒマはないと思うのが常識だが、そこは流石達人名人の域に達している二大家である。御心配無用。

○…文壇の長谷川一夫と自他共に認めている丹羽文雄の無名新人時代が、今も銀座のバーでマダムを勤めている『嘘の女性』に支えられていたことは広く知られている。その時分の苦労を忘れない彼は、無心OKとよく後輩の面倒を見るので、子分が何百人といる。脂ぎったマダムの豊腕に溺れたのも昔の夢で、今は遊びも程々にして、神楽坂あたりへ時々おしのびで出かけるが、キレイに引上げてヘンな噂は残さない。人徳というものだろう。

○…エロ燗の名も高い舟橋センセイの方は、ヘンな噂を残しすぎる。すっかり大家に納まってしまったが、家で食事する時、一家眷属を従えて一汁一菜、但し御自分だけは二の膳付きというワンマン振り。合理的といおうか、ケチといおうか、酒も煙草も節制して余剰エネルギーを女性一本槍で打込むのだから、自ら『しつっこいよ』という通り、妻妾同居はやめたが、原稿〆切りで旅館にカン詰めにされる時には必ず隣室に女性を用意させ、大いに気分転換に活用あそばしている。ノゾキ趣味も花街の女将間で有名である。三業地御用の『芸者小夏』を書き続けていられるのも、水戸高時代に『月謝よりも玉代が先』をモットーとしていた彼を知ればよく頷けることであろう。(戸)



丹羽文雄

(新)(刊)(紹)(介)

◇風と共に去り風と共に来りぬ・疑獄篇(前篇)(森脇将光)—世を震撼した造船疑獄、その口火を切った著者が事件の真相を後世に遺そうとの悲願に燃えて執筆したこの書は、すでに第一部謀略編、第二部捜査編が刊行されたが、今回は第三部疑獄編が刊行されて、いよいよ事件のヤマにかかって来た。河井検事の登場から山下汽船の手入れとなって本格的捜査が開始され各海運会社、日通、交通公社、官界への飛火と捜査が進展してゆく経路と著者の衆院決算委員会への登場などがスリルに満ちた筆で描かれている(B6三一八頁、二七〇圓、安全投資KK出版部)

◇奇本・珍本・本の虫(庄司浅水)著者は書物研究家として知られ、書物に関する趣味と研究の成果を放送などしている篤学の士、一古書蒐集家の五十年にわたる珍本漁り、日本と中国の蔵書家、集書家、愛書家の話、古書の値段など、書物に関する秘話挿話が淡々とした筆で記されている(B6一七五頁、一二〇圓 四風書房刊)

あすの運勢 —一月十一日— 高島象山

▲一月生—運気沈滞して不振に陥り事志と違い失望多し社交は不利なり▲二月生—心気動揺して奸人の詐術に陥り易く失敗損失を引き起し易い▲三月生—一道の光明あるという日なれば急がず焦らず努力すれば幸あり▲四月生—内に悩み外に間違い起り易いから愈々ひかえ目にし保守的によし▲五月生—性急にして短慮なる行動は失態を招く注意せよ▲六月生—何事も滞まず躁らず内外の情勢を見定めて活動し吉となる▲七月生—周囲の事情悪化して他動的迷惑損失あり取引には手違いあり易い▲八月生—物事がすべて自己本位に流れ信を失い損をする場合い事には不譽をとる▲九月生—自己の信念を固く守り静かに努力して吉▲十月生—不意の出来事に頭を悩ますことあり注意▲十一月生—何事も無理を通さんとして却り失敗し易い▲十二月生—稼業大事と辛抱し堅實に活動すれば利運幸福に至る也

モダン歳人記
強盗と女流作家

昭和四年一月十一日払暁、砧村の女流作家三宅やす子宅を説教二世とか講談強盗といわれたのが襲った。やす子は故理学博士恒方の未亡人で『偽れる未亡人』等の通俗小説の作者として知られた美貌の後家さんとして著名であった。

彼は勝手口の窓ガラスを蝋燭で焼き切り、若い女中を起して二階の女史や令嬢の寝室へ案内させたのだが、盗られたのは現金四十五円と写真機一個だけ、だが女ばかりの館なので話が桃色化して伝えられ、令嬢をかばって女史がとか女中から令嬢の三人まで…とか噂されたものだ。

この犯人月末には老教育家下田歌子宅へも風呂場から侵入したが翌月六日朝銀座松屋で逮捕された大阪生れの岡崎秀之助で、この岡崎とやす子を警察で面通しするというので新聞社のカメラマンがワイワイと押しかけた。『彼女まるで恋人に逢うようにいそいそ上気してたよ』など評判され、すぐに予審調書張りの春本も巷間に流布した。そのためでもあるまいが、まもなく令嬢艶子さんは頗る若年で画家阿部金剛氏に嫁した。(鮭)

豆知識

摂護腺病 余り持物が大きいと摂護腺肥大又は摂護腺ガンになり易い、沙漠に住むアラビヤ人はラクダに乗るので性器を傷め、ためにこの病気にはかからないそうである、この病気にかかるのは性機能が正常の者のみである、即ち性器が強ければ強いほどこの病気にかかり易いと、アイオワ州のジェームス博士がいっており、彼は百六十人の患者に放射性コロイド金を注入することによって、廿ヵ月で半数を全癒させたという

妙な離婚 夫婦協議して離婚の訴訟をおこし、裁判所でも一寸妙な理由だとは思ったが、夫婦の熱意に動かされて離婚を宥した、話題の人はジョージャ州メイコン市のジェームス夫妻、ジェームス夫人は再婚、ところが初夜から二人のベッドの中に死んだ先夫が入って来るというのである、二人が相擁そうとすると、無理にその中に割って入り夫婦の固めをさせないのである、この二人がはっきりその姿を毎晩見るというので、裁判所では失礼ながら承知で検査係を立ち合わせたが、他人がいると出ない、といって他人がいたのでは夫婦の固めも出来ない、二人の言分によると、幽霊は二人の足もとから無理に入ってジェームス氏の方へ尻を向け、夫人をかい抱くようにして『お前それでいいのかい』とかきくどくのである、結局二人は離婚したが、夫人の方はこれでは一生女の喜びを失わなければならないと、神経衰弱の態だという

不妊症療法 不妊症の療法として現在アメリカで考えられているのは次ぎのようである
(一)抗生物質、例えばペニシリンを子宮口に直接使用する
(二)ルビン方法といわれ、ラッパ管に二酸化炭素を吹き込む
(三)X光線を婦人の局部にかける
(四)甲状腺ホルモンを与える
(五)婦人の内分泌で精虫を殺す場合もあるので事前に灌水する
(六)男性が耳下腺炎にかかると精虫がなくなる可能性があるから注意を要する

哀恋邪恋 情死秘話
第十四話 殺人心中事件(二)
邑井玄吉　土端一美画

(前承)

『旦那放して! いやったら、放して…そんなしつこいこと!』

大腿もあらわにもがき苦しむ千枝子をがっしり抱きしめた清造は、

『ヒッヒ…何もそう驚くこたァない、今夜は仮祝言だから、さァおとなしく私に抱ッこして、一杯おやり…』

と、盃の酒をダラダラとこぼしながら、千枝子の唇につきつける。千枝子は仮祝言と聞いて合点が行かず、

『旦那さん、仮祝言てなんなの?』

『はッはは、祝言は正式の結婚式のことをいうんだが、今夜は、お前の身うけの相談がまとまったんで、その前祝いや』

『えッ! あたしの身うけ?』

それは千枝子にとって、いきなり鉄槌で殴りつけられるほどの驚きだった。この本橋清造という客は平塚の町で手広く穀物問屋を営んでいる六十爺さんだが、十年前に女房を亡くしてから女郎買いに浮身をやつし、金のあるにまかせて毎晩のように遊びに来るが、これが評判の変態で、惚れられた千枝子は清造の獣のような欲情に何度悲鳴をあげたかわからなかった。

殴る、蹴る、つねるは普通で、或る時は、全裸のまま腰紐や帯で縛り上げられ一晩中愛撫されたり、顔中に汚物をかけられたりなど、到底耐えられぬ変態行為だが、これも勤めと思えばこそ、歯をくいしばって我慢していたのだが、それが身うけされて後妻に迎えられようとは!、然し、その時千枝子はふッと考えた。

(そうだ。この爺さんをうまく利用して、この泥沼から足を抜くことさえ出来れば、後はどうにでもなる。恋しい信一さんのところへ逃げて行くことも出来る)

こう考えたればこそ、楼主や朋輩の祝いの言葉にも心からの笑顔を見せて本橋清造の後妻として、丸髷の赤手絡もなまめかしく、帳場にすわってお客に愛想をふりまいていた彼女だったが、それも束の間—後妻になってから一月目の夜、用意周到にしまった年期証文を懐中に、清造が同業者の寄合で留守をしているのを幸い、着のみ着のまま家を飛び出し東京行の列車の一隅に身を隠し、漸くの思いで虎口を脱することが出来た。

東京へ着くなり、以前信一から来た手紙の住所を頼りに、飯田橋の東亜タクシーを訪れて見ると、この頃は築地の青葉荘というアパートに移り、そこから通ってくるという。それにあいにくその日は信一の休みの日だったので教えられた道順をたよりに青葉荘に行き、管理人室の窓口で信一の部屋を覗いていると、その時二階の階段からコツコツと靴を鳴らして下りて来たのが、身装りこそ、まるで映画俳優のようにスマートになっているが、まぎれもない恋人の信一だった。

『信一さん!』

我を忘れて信一の胸に飛びつき、『私逃げて来たのよ! 逃げて来たのよ!』

不意をくらった信一は、しばし茫然と口もきけない様子だったが、漸く気がしずまると、

『なァんだ千枝ちゃんだったのか…』

と、とってつけたような微笑をうかべたが、二階の方が気になるのか、そわそわと落ちつかない様子で、『ここじゃァ話も出来ないから、外へ出よう。そしてゆっくり君の話をきこう』と、あたふたと千枝子を連れ出した。











東富士・プロレス入りは確実

今月末、力道山と渡米

半年間まず基本練習　帰国後に名乗りあげ？

江戸ッ子横綱として人気を集めていた東富士が昨年十月二日、突如病気を理由に高砂理事を通じて相撲協会に引退届を[illegible]の動向を各方面から注目され、一部ではプロレス入りなど噂されていたが『元横綱ともあろう者がそんな馬鹿な—』と[illegible]た、ところが八日夜浅草吉原角町鮒忠で開かれた力道山道場の新年宴会に姿を現わし、同道場員廿数名に囲まれ文字通[illegible]会席上、力道山と共に来る廿六日アメリカ行を洩らし（表面はハワイ相撲協会招聘）たので、四十余貫巨体東富士元横[illegible]謹一氏(三四)—のプロレス入りは彼の口からこそいわないが確実化され、おそらくハワイから米本土に渡り半歳後帰国し[illegible]とし、力道山同様立派なプロレスラーになり都民にお目見得するのではないかとみられるに至り、藤島年寄り—元安[illegible]界の封建制を悒んでの引退につぐビッグニュースとして角界を初めスポーツ界に衝撃を与えている（門）

"腹の肉を落す"が条件

◇昨年九月の秋場所で初日信夫山に外掛け、二日目に若ノ花に引落しに敗れ『自信をなくした』と輝く六度の優勝と横綱の栄誉を華かな思出に、蔵前国技館の土俵生活を去った東富士、その後は高砂理事の引留めもきかず彼の引退は好角家から深く惜しまれていた、その彼に対し一部では『栃錦の横綱昇進にからみ成績不良で詰腹を切らせられた』『小部屋なので生活が苦しい』『相撲協会の封建制と仕打ちが冷た[illegible]った説まで飛びだした

◇一方角界をきって沸くような人気のプロレス力道山とは親しかったので東富士のプロレス入りが伝えられた、これに対し当時力道山は『東富士のプロレス入りは直接本人から何も聞いていない、その話は東富士から聞いてくれ…』と否定していたが去る八日の新年宴会で力道山と東富士は上座に仲よく並び盃を交しながら心から打とけ、席上力道山は

『予定の渡米は今月廿五、六日手続きが済み次第行く、今回は東富士と二人で行くことになった、遠藤幸吉も豊登もハワイのプロモーターから話があるのであちらで会う』と洩らし、一同をびっくりさせた、だが力道山は『東富士のプロレス入りについては正常な判断にまかせる、今回の渡米は自分はプロレス興行の契約であり、東富士は一応ハワイ相撲協会の招聘という形にはなっている…』といい、更に

『東富士がプロレスに入る場合はあくまで腹の肉をとらなくてはならない、それにはレスの基本的なトレーニングが必要である、しかし私は豊登、芳ノ里…のプロレス参加で相撲協会に痛くない腹をさぐられているだけに、東富士問題でこの上同協会を刺激したくない…』と慎重な口振りだった

◇当の東富士もレスラーに囲まれ酔もまわって嬉しそうに『君らにはまだ負けんナ』と中々の御機嫌！記者が『プロレス入り』をきくと『余計な事をきくなよ』と大きな体をゆすぶって笑っていた、同席の関係者の話だと、力道山と東富士の渡米は確定しており、これを契機にプロレス入りは不可分なものとみている、東富士自身も自己の将来については驚くほど真剣に考えていたという、力道山、東富士の帰国は半歳後だが、それまでには東富士もお腹の肉を落して一流のレスラーになって帰ってくるのではないかとみる向きが強く、引退後の去就を注目されていた力道山、東富士の年頭の顔合せは藤島年寄の引退など封建的な暗い相撲界とは逆に渡米を前に明るかった



力道山とアベック？でアメリカ行だよ、ワッハッハーと新年宴会席上四十貫の巨体をゆすぶる元横綱東富士

記者の初夢訪問記　徳球氏の巻

整形手術でこの通り

その代り女房がヤキモチ

【記者の驚異】整形手術が発達した世の中とはいえ、驚きましたナ、あなたの御面相がそんなに立派に変るとは…いや全く驚嘆の限りです、ギョロッとした眼、特徴ある大きな耳、柱をつぶしたような鼻がそんなにスンナリするなんて1955年の斎藤ですよ、今年の十大ニュースに入りますネー考えてみると警視庁の旦那方も阿呆ですな、潜行幹部を捜し当てた方には百万円出すとか、やれ写真を全国に手配したりし、あげくの果は捜査費に何千万円かゝったナンテ泣言をいっているが、ほんとうにオツムのネジが一本ぬけているんじゃないですか…とやりこめたい位ですよ、整形手術がこれほど進歩したのだから江口総監もこれまでの捜査方針を一変しなければあきまへんなー徳球さん、実をいうと警視庁の連中はあなたが野坂さんと一緒に北京にいると思い込んでいる

【徳田球一年頭の辞】いやあ実をいうと俺も三年ほど前までは名古屋で捕った春日正一と同様正月はアカハタに徳球の年頭数つけひげ、色眼鏡で変装していなんてデマまで伝えられている

書？が出るというのでデカ（刑事）の方々は大いに期待していたが、捜査デカ（刑事）のガン（眼）は鋭く、殊に俺の耳と鼻は人一倍大きいので苦痛をしのんで××病院にゆき整形手術をやって貰ったら見違えるほどになって喜んだり、パカヤローたのですが、出ないものだから徳球の奴いよく／＼クタばったかんでみんな知っておることも都心で大儀でクサっている氏(吉田)が大儀でクサっている

だが、手術をやって困ったことが一つあったよ、女房のたつ子がスッカリ亭主の俺を見そこなったことだ、わしは弁明これつとめたが、どうしても信用しない『私の夫はそんなスマートな方じゃあないわよ…』と、この俺を眼の前にしてしゃあくいいやがる、そこで窮余の一策、恥をしのんでクルッと前の大切なところを捲ってみせたんだ、嬉しいことには女だネ、俺のシンボル？を忘れていないんだよ、『あらッ懐しい、やっぱりお父ちゃんだワ…』としがみつきあがった、そして『あなたこんなに色男になると芸妓にもてやしない…』ナンテ嫉妬する始末さ、ハッハッハー、かくの如くで整形手術には感謝感激、俺は健在だよ、いま女房と相談の上、シンボルもついでに大きく手術することにした、いやこれは冗談だよワッハッハー（I）—完—

こんでいるの程です、そこで徳球さんあなたの新年の挨拶をきかして下さい

んないい男になっちゃったよ、ウッフーフー、これじゃ地下なんかに潜る必要はサラサラないので、毎日こうやって大手を振り銀座通りを歩いているんだよハトポッポ（鳩山）が総理大臣



監視船（水産庁）消息断つ

第十伸洋丸　空海で捜索

黒潮丸の二の舞い？

水産庁監視船第十伸洋丸（百四十四トン乗組員十四名）は消息を絶って六日目の十日午前十時現在依然何らの手掛りもない、海上保安庁、水産庁は同日朝から合同捜査会議を開き捜査圏を八丈島東方まで拡大、現在出動中の海上保安庁巡視船"むろと""みやけ"水産庁監視船第一成洋丸にさらに数隻の捜索船を加え本格的な捜索に入ることになった

一方極東米空軍に対しては絶えず情報連絡を続け同方面を飛行する米飛行機による監視を要請しているが、空からの捜索陣を強化するため十日中には米空軍の専従捜索を依頼することになっている

また第十伸洋丸の行方不明で昨年一月同船とほとんど同じケースで消息を絶った第三黒潮丸（百五十一トン）事件が再び問題になってきている、第三黒潮丸は同じ水産庁監視船で船長山本盛吉氏以下十九名が乗組み廿九年一月廿七日下田を出港マリアナ、ニューギニアなど南方漁業の指導、監視に向ったが二日後の廿九日正午『現在位置北緯二八度五三分東経一四一度三[illegible]分』の無電連絡をしたままベヨネーズ並岩東南東海上から消息を絶った、捜索の結果浮遊物のかけらも発見されないまゝ全員死亡と認定されている、第十伸洋丸の場合もこれとほとんど同じ情況であり、さらに謎を深めてきている

検挙人員一万三千六百人

ポン取締、昨年度の成果

警視庁覚醒剤取締対策本部では十日朝昨年度のヒロポン取締りの結果を次の通り発表した

▽検挙件数＝一万三千六十三件▽検挙人員＝一万三千六百四十九名▽押収物＝原末一五二・一五六ｇヒロポン液三百四十万二千七百八CC

廿八年度と比較して約六割の増加となっている、取締が強化されてからの傾向は取締当局の眼をかすめて種々の戦術を使い街頭取引が目立って多くなっている、その一例を挙げると同本部では十日までに台東区竜泉寺町三六四無職梁月仙(三〇)、足立区南堀之内一四一〇江北寮内仕切屋林代浩(四二)を検挙したが林は上野駅三等待合室を取引場所とし七日夜六時半ごろポケット用ウィスキービン二本と小ビン一本にポン液三百ccを入れ背中に結びつけて隠匿していたところを本部員に捕ったもので、ビン一本分を八百円前後で流していた、なお梁は女だてらに自宅で昨年九月、十一月の二回にわたって検挙されたにもかかわらず密造を続け林を通じて流していた



学童二人はね飛ばす

トラック大暴れ　店二軒に飛込む

十日朝八時半ごろ新宿区戸塚二の一四〇先早稲田松竹映画館前で中央区日本橋室町三の一、六和株式会社木村清次運転手(二七)が運転する小型貨物トラックが運転を誤って歩道に乗上げ火災報知機、電柱、街路灯などをへし折った後登校途中の同区戸塚二の一六新井文園高校一年生佐藤泰子さん(一六)をはねとばし頭に全治三週間の傷を負わせ、他の一名にも軽傷を負わせ、同番地呉服商小川次郎さん(四三)方と隣りの菓子屋西村清さん(三三)方に次々と飛込み雨戸や柱などを折り車の前部を大破してやっと止った

戸塚署の調べでは木村運転手のわき見運転で歩道が凍っていたためスリップしたもの

デフレで潤う

きょう初金比羅

○…金儲けと船乗りの守護神金比羅さんの今年初の祭礼初金比羅がきょう十日虎ノ門と四国の二ヵ所で行われた、本殿の復旧なった虎ノ門の金刀比羅宮では正面拝殿に海や山の産物をあふれんばかりに積込んだ宝船をどっかと据えつければ、デフレの波を何とか乗り切ろうとする中小商工業者が早朝からひきもきらず、雨上りの暖かさに誘われてどッと押かけテンヤワンヤの大混乱

○…一見お上りさんともみえる商人風のおッさんに混って新橋、赤坂の粋どころもちらりほらりとみえ一金百円也のお札も飛ぶように売れるとあって『デフレは神社から吹飛んで行きますよ』と神主さんホクホクエビス顔だった【写真は善男善女に賑う初金比羅風景】

連出して滅多斬り

飲屋の相客同士が喧嘩

【町田発】九日夜十一時四十分ごろ都下南多摩郡町田町原町田肉屋広島輝男(二九)は同町の飲食店荻原忠次さん方で飲酒中客の神奈川県相模原市大島トビ職荻原豊次さん(三〇)と口論、広島は荻原さんを原町田の木工場付近に連れ出し、持っていた刺身包丁で顔その他を斬りつけ約一ヵ月の重傷を負わせた広島は間もなくかけつけた町田署員に傷害現行犯で逮捕された

女給さん襲わる

十日午前零時五十分頃大田区東蒲田一の一九女給鈴木瓔子さん(二一)は帰宅の途中、同番地先暗がりで後から来た五尺二寸ぐらい、眼鏡をかけたやせ形の若い男に抱きつかれ『金を出せ』と首を絞められたが、騒いだため一物も得ず逃走したと蒲田署に届出た

川崎の辻強盗三人組を逮捕

【川崎発】川崎署は十日午前一時ごろ同市桜本前四八七工員丸山晃(二〇)は同市古市場町二の一一二工員原子裕次(二二)同町二の六八工員細野次丕(二二)の三名を強盗傷人の疑いで逮捕した、調べによると丸山らは同日午前零時五十分ごろ同市南町九八先特飲街で東京都大田区東蒲田一の一八酒井幾之さん(二一)を脅し現金千二百円を奪い、また前夕十一時四十分ごろには同市東四三五先で同市塚越二の一六〇人夫山城弘之さん(二二)に殴る蹴るの暴行を働き二週間の傷を負わせた上、百廿円在中の背広上衣を奪ったもの

NOチップ社交場　神田サロン松

迷路ガイド

解答　小池創之助

子宮の"収縮剤"を

掻爬のあとの出血に悩む人妻

【問】旧ろう十六日、ある医師の手によって第六回目の内膜掻爬をした卅五歳の人妻です、その後腹痛もなく、熱も出ず、たことは滅多にないが…』とおっしゃって二度目の掻爬をやりました『さあこれで綺麗になった、もう子宮内は何もない』と申されましたので安心して帰宅しましたところが新春に入っていまでもやはり最初のように微量の出血が続き色も薄くなったり濃くなったりします、このような状態が続いても差し支えないものでしょうか、放っておいてよろしいでしょうか、お答え下さい（埼玉県大宮市・O子）だ脱脂綿に付着する程度の少量の出血が続きますので廿九日に再び同医師の診断を受けましたところ『これは珍らしいことだ、こんな

【答】二回も掻爬をし直してもなおかつ出血が止らないということですが、ご質問の程度の出血ならば十日や廿日続くことも多く、あなたを診察した医師のいう"珍らしいこと"ではありません、ですから二度目の掻爬はしなくてもよかったと考えられますさて出血の原因についてですが、それには色々のことが考えられましょう、それは掻爬のあとに脱落膜が残ればもとより、残らなくても子宮膣部の状態が悪いために出血を見ることがあります、また子宮膣部の靡爛から出血することも少くありません、ですから処置としてはもう一度婦人科医を訪れ子宮の収縮剤を射つとか、その他止血剤をほどこして貰い、靡爛があればその手当をすればよいでしょう



シルコフ驚異的記録

ソ連スピード・スケート

【モスクワ放送九日ACH＝共同】九日ソ連のアルマアタ市で行われたカザック共和国杯争奪スピード・スケート大会でボリス・シルコフ選手にドミトリ・サクネンコ選手は五千㍍にそれぞれ7分45秒6および7分54秒9の驚異的世界新記録を樹立した、従来の世界記録はソ連のマーモノフ選手の8分3秒9である【写真はシルコフ選手】

初場所三日目取組

東	西
千曲錦	二所錦
松恵山	起雲山
小野錦	小坂川
松緑	太刀風
時錦	福井山
秀錦	豊ノ花
平鹿川	甲斐山
神雷	星甲
白雄山	森ノ里
前ケ潮	肆ノ勢
楯甲	大土崎
那智山	玉風
神生山	二瀬山
八染	前ノ山
栃光	芳野嶺
劍龍	大田山
秀ノ花	東海
増巳山	大龍
備州山	若羽黒
若ノ海	愛知山
櫻國	鬼龍川
緋縅	七ツ海
—中入り—	
備後山	福ノ里
二瀬山	大晃
清恵波	平ノ戸
出羽花	大瀬川
常ノ山	若前田
秀湊	白龍山
神錦	泉洋
吉井山	島錦
鳴門海	安念山
出羽湊	鶴ケ嶺
國登	時津山
琴錦	大蛇潟
鷹瀬川	大天龍
清水川	若葉山
玉ノ海	成山
朝潮	双ツ龍
信夫山	北ノ洋
宮錦	大内山
若ノ花	潮錦
出羽錦	松登
三根山	羽島山
琴ケ濱	栃錦
千代山	大昇
鏡里	若瀬川
大起	吉葉山

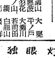
老婆、猫イラズで

十日午前五時ごろ足立区下沼田三〇五無職岡本いささん(七〇)は自宅で猫イラズを飲み自殺を図ったが一命はとりとめる模様、神経衰弱から

赤羽駅で飛込み自殺

九日夜十一時ごろ国電赤羽駅構内で新潟発上越まわり上野行列車が発車した際、ホームにいた五十歳位、草履ばき人夫風の男が飛込み自殺を図り近くの病院に収容されたが両足切断で死亡した

独眼灯



○…旧臘渋谷夜の女滝野千恵子さん(二)殺しは年越し捜査本部事件となり十一日目を迎えたが、事件発生後彼女が住んでいた田村アパートに夜ごと『リリリン』と怪電話がかかり、管理人の田村国雄さんを薄気味わるがらせている

○…最初はさる四日夜十一時ごろで『千恵子さんを呼んでくれ』と電話があったのを始め中には『フフフフエッヘ…』と妙な笑いをしてガチャリ切ってしまう

○…渋谷署ではこの悪質な怪電話に『一日も早く犯人を検挙してやる』とカンカンになっている

砧でメッキ屋焼く

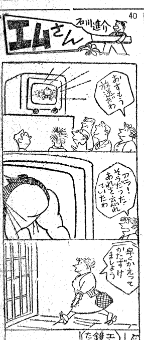
十日朝四時半ごろ世田谷区砧町一〇二メッキ業村上幸三さん(三)方から出火、木造住宅二棟十七坪を全焼、成城署で原因調査中

麹町で15坪半焼

十日午前一時四十分ごろ千代田区麹町三の七建具屋加古光吉さん方から出火、同家木造平家住宅と材木置場十五坪を半焼麹町署で原因調査中

平和台球場出火

【福岡発】十日午前零時卅五分ごろ福岡市平和台球場外野スタンド後方の売店から出火、同店を全焼して同一時鎮火したが球場への延焼は免れた、原因損害調査中



今晩のラジオ

10日（月）

時	【NHK第1】	【NHK第2】	【ラジオ東京】	【日本文化】	【ニッポン放送】
6	00 ❶子供のシンブン❷子供の歌 指導 藤山一郎 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間 樹晃喜一郎 30 科学クイズ『冬の動物園』解説林寿郎ほか	10 劇『こんちは横丁』 25 バイバイ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇『宇宙戦争』 10 劇『すずらん太郎』 25 久保田敏夫とラッキー	00 劇『ポツポちゃん』 20 時代劇『銀蛇の窟』 35 歌謡百貨店 照菊ほか
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 司会宮田アナウンサー	00 20世紀の音楽 歌劇『テレシアスの乳房』 30 若い女性『冬のくらしを楽しく』林緑ほか	10 録音ニュース 20 文学サロン 源氏物語 30 四つの明星 高田浩吉 霧島昇 笠置シヅ子ほか	00 録音ニュース 10 歌のいざない 20 素人ものまねコンクール 司会市村俊幸	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた 須藤健他 30 ❶落語『五人男』今輔❷『錦明竹』志ん生
8	00 お父さんはお人好し アチャコ 浪花千栄子他 30 浪花節『流れ星潮来情話』寿々木米若	05 教養特集 座談会『道徳教育をめぐつて』堀秀彦 池田潔 玉城肇 勝部真長	00 浪曲『はりつけ茂左衛門』天中軒雲月 30 タレント・スカウト 河井坊茶 豊文 金語楼	00 ❶俗曲 〆香❷落語 しりもち 三笑亭可楽 30 劇『照る日曇る日』大仏次郎作 市川中車ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会テディ・中村他 30 大学勝抜き歌合戦 司会奥田アナ
9	00 ニュース解説 村田 15 街頭録音『都会の青年から農村へ』長野―東京 40 声をそろえて メイコ	00 名作劇場『今昔物語』より大力乙女 来宮良子 植木正男 岌川武夫 巌金四郎 水城蘭子ほか	10 銭形平次捕物控『鬼女』滝沢修 渡辺篤ほか 35 ミュージカルショウ 椿姫 森繁久弥ほか	00 愛のこだま 芦野宏 旗照夫 藤原邦子ほか 30 民謡浪曲 木遣りくづし 玉川福太郎 菊江	00 声のスターコンテスト 清水将夫 水城蘭子ほか 30 コミツク・ジヤズ・タイム 星野美代子ほか
10	15 のんきタクシー『恋と風船』内海突破 浮子他 40 風流歌草紙 せい子他	00 ❶初級英語 梶木隆一 ❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇『新撰組』木村功他 30 交響曲『新世界より』	00 英文和訳 岩田一男 30 解析I 戸田清	00 劇『裸一貫』滝沢修他 15 落語『浮世床』金馬 35 スリラー『謎の男』
11	10 世界をつなぐ 20 ❶明日の話題❷随筆『八岐大蛇』池田亀鑑作	00 商業羅針盤『売出しについて』倉本長治ほか 15 新聞論調	10 科学の眼 ピアノの音 兼常清佐◇お知らせ 45 ポピュラー音楽	00 斬捨御免 新春の辞 伊藤雄 高木健夫ほか 30 ブーランクの夜曲	15 マイク・スナツプ 40 スキーの思い出 宮内寒弥
あすの番組	7・45 朝の訪問 大野伴睦 8・05 交響曲『ハフナー』 8・30 夢と芸術小熊虎之助 9・45 青いノート 木崎豊 10・05 けさの話題 小秋元 11・15 朗読 永井竜男作品 12・30 小咄横町 太宰久雄 1・05 ラジオ小説『縁談』 2・05 ❶俗曲 桧山さくら❷落語『黄金の大黒』百生	8・00 結核講座 岡治道 8・30 メンデルスゾーン二台の洋琴のための協奏曲 10・30 この頃のできごと 11・15 マイクの旅太宰久雄 12・30 ボンゴのひびき 1・15 ロンドン交響曲 2・30 短歌入門佐野佐太郎 3・00 おやつの時間 3・30 大相撲初場所三日目	8・20 ラジオ・スケッチ 9・45 思い出を語る 10・10 名作アルバム婦系図 11・45 歌謡曲 近江俊郎他 12・15 柳沢真一の歌 12・30 浪曲『春風左小刀』 1・30 婦人の生活と意見 2・05 ダイナ・ブラザース 3・10 歌のキヤビネット 4・00 大相撲初場所三日目	8・25 劇『ミナモトさん』 9・45 歌謡曲のメロデイ 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 劇『東京の人』 12・00 歌謡曲ほか 1・25 ラジオ寄席▽歌謡曲 2・30 箏曲『尾上の松』 3・40 オランダの音楽 4・00 マイク探訪▽音楽 5・00 夕べの軽音楽	8・10 劇『おとこ大学』 9・00 劇『サザエさん』 9・45 歌とお話井口小夜子 10・00 きんぴら先生青春記 11・00 劇『胡椒息子』 11・45 歌謡物語渡久地政信 12・00 漫才オペレツタ幸江 1・00 劇『夫婦舟』日高久 2・00 権九郎帰国日記 3・00 ジヤズ・クラブ

テレビ

NHKテレビ

6・00 仲よしニュース
6・10 劇『横丁の大将』
6・40 日本の産業 パルプ
7・15 映画❶躍進のかげに❷まこと君の家❸ふろたき大将▽ニュース
9・10 ニュースの焦点

日本テレビ

6・00 文福茶釜 右手和子
6・15 国内スポーツ特集
6・25 ラグビー・シーズン
6・45 『詩人の恋』より
7・30 リボンの騎士 榎本健一 榎本雅夫ほか
8・00 テレビ寄席 円歌他
8・40 梅の春 藤間伊勢弘
9・00 きょうの出来ごと

☆NHKテレビ☆

12・15 NHK週間ニュース
12・30 朝比奈五朗と楽団
1・00 動物の国 林寿郎
1・20 幼児の世界冬の病気
3・00 大相撲初場所三日目

☆日本テレビ☆

12・15 ジャズコンサート
12・45 明るい家庭 活花他
3・30 大相撲初場所三日目

浪人街道 (33)

木村荘十 作 / 野口昂明 画



当分つゞく低俗もの

客は甘くはなし…と痛し痒し　スター地圖も書變る?

1955年映画界の展望

昨年の映画界は、日活の製作再開、二本立興行のまんえんなどあって製作本数は近年にない活況をみせ、作品にも『七人の侍』『山椒大夫』『地獄門』と海外の映画祭に受賞する華々しさであった、しかし一方ではデフレの影響もあって、比較的安上りに製作できる"ジャリ映画"の流行となり、はては『ゴジラ』の大ヒットからタヌキ、キツネ、ネコ化けといったイカモノ趣味の映画が横行、映画界未曾有の企画混乱期だという声もおきて来た、さてそれでは今年の映画界はどう動く? いくつかの焦点を展望してみよう

一年最高のかき入れ時という初春興行は、絶好の天気続きであけられたが、一日から三日までの各社興行収入をみると、スターの実演をのせた浅草国際、日劇以外はものの見事に洋画系統に食われてしまった、と同時にこれは昨年三ヵ日の集計から比べても、松竹廿万円、東宝四十万円、大映卅万円、新東宝八十六万円といずれも減[illegible]的に強い固定客を持つ東映が約二百万円の増収となっているだけの成績に終った、これについて大映宣伝部野田部長は

『俗悪映画が横行するというがこれは全部がそうだともいえないし実際に眼が肥えてきている、そこで優秀映画の一本立興行こそ我々の希望だといえるのだが、といってすぐそれができないのが今年の映画界の悩みでねえ』

といっている、従ってチャンパラ、ドタバタ、流行歌ものという手軽な作品は今年も当分は続くものとみられるわけだ

にあらわれたように、やはり席映画は客によろこばれないということは事実になって出ているわけだ、それほどお客さんは[illegible]

これに反して全プロ態勢に入った日活は『月は上りぬ』『消えた中隊』『人斬り彦斎』『警察日記』などと正月興行ではかなり充実した番組をのせている

このことはまだ社内のシステムがとゝのわないためにプロデューサー、また監督などがそれぞれ野心作を持込んだのを比較的スムースに取上げざるを得なかった結果だったわけだが、日活の企画主任清水氏は

『現在まであまり大作ばかり取り上げていたが、今後は比較的軽い本当の娯楽作品も製作する予定だ、何しろ全プロを組まねばならぬという本年の第一目標があるから』

と語って、ここにもまた超娯楽映画への動きをみせている



高友子　三橋達也　岡田茉莉子　筑紫あけみ　三国連太郎　北原三枝

「二十四の瞳」「近松物語」有力

五五年度カンヌ映画祭の出品作

[illegible]目下のところ劇映画部門では松竹の『二十四の瞳』(演出木下恵介、主演高峰秀子)と大映の『近松物語』(演出溝口健二、主演長谷川一夫、香川京子)の二本が最有力とみられているが、『二十四の瞳』の方は木下監督もその意向なので、上映時間二時間廿分を二時間程度に縮めて出品される筈である 二月十五日までに作品リストをフランスに送る予定になっているが

どうなる五社協定

フリー俳優は増加か

考えられるのが例の五社協定対俳優の問題だが、昨年は『月は上りぬ』の田中絹代事件をはじめ種々話題をまいたもの〻結局は一部をのぞいて三国連太郎を始め、有馬稲子、岡田茉莉子、三橋達也、北原三枝などといずれもスターにとっては[illegible]って情況は好転という結果をみせている

従って今年もスター級の俳優が続々フリーになりそうな気配がみられるわけで、松竹から小林トシ子が専属を離れ、また佐田啓二さえも七月の契約更新期には松竹との契約をフリーにしようとする考えを持っていると伝えられている

このように各社の専属スターがフリーとして自由に各社に出演することができれば五社協定も有名無実化するわけではある

また俳優の監督進出も目立つが、これらは特に田中絹代の『月は上りぬ』山村聰『黒い潮』の成功ですっかり潮流にのったかたちで続いて宇野重吉、佐々木孝丸、江川宇礼雄、上原謙、辰巳柳太郎まで名乗りをあげている、これなどは俳優、キャメラマンでは満足出来ぬ芸術欲をみたそうというわけでこれと並んで新人の発掘、或いはすでに相当に売り込まれた中堅スターが第一線スターへの進出をはかるなどと共に華やかな脚光を浴びそうである、日活の高友子、新東宝の筑紫あけみ、東宝の北川町子、松竹の野添ひとみ、藤乃高子といったクラスの活躍は特に期待をかけられており、今年の映画界こそ人気スターの再編成がみられるのではないかと噂されている

また昨年からの目立った動きに俳優グループの活動があるが、すでに『クレインズ・クラブ』『まどかグループ』『にんじん・くらぶ』などはそれぞれ自主映画製作の方針をたて、今年は昨年以上の活躍をしようと準備中である、そこで[illegible]



珍しいテイラーの艶姿

スクリーンではもっぱら淑女の手本みたいな役をやっているエリザベス・テイラー、自宅にあっても良妻賢母だがもとく英国人でいくらレディ教育を受けたとはいえ、そこは当りまえの女性、たまには思い切って世評のワクをやぶって、グッとお色気を発散、成熟した女の魅力で大いに殿方諸公をなやましてみたって悪くないでしょう…というのがこの写真、どうです、胸、腰の線、それに腿のあたりの眼のくらむような素晴らしさは!(NANA特約)

『雨月物語』『地獄門』

タイム誌、ベストテンに入選

タイム誌では、昨年度封切られた映画のベスト・テンをこのほど次の通り決定したが、このうち日本映画では大映『雨月物語』『地獄門』が入選している

『悪魔をやっつけろ』米『ジュヌヴィエーヴ』英『掠奪された七人の花嫁』米『たそがれの女心』仏『波止場』米『ハイ・アンド・ドライ』英『小さい誘拐者』英『雨月物語』日『カルメン・ジョーンズ』米『地獄門』日、なお『地獄門』はこのほか米独立映画配給者協会の一九五四年最優秀外国映画としてジョーセフ・バーンスティーン賞を受けまたニューヨーク映画批評家協会では『地獄門』を昨年度の最優秀外国映画に推選された

若原雅夫日活契約

若原雅夫は本年より日活と年間五本の専属契約を結んだ、なお契約は一年毎に更新され、昨年撮影した『お月様には悪いけど』『湯の町椿』は含まれない

催し ▼ベートーヴェン三大奏鳴曲の夕▲十一日六時半日比谷公会堂、出演者井口基成、巖本真理、奏鳴曲第五、第七、第九の三曲演奏

平野グループ結成

新春を期して発足



さきにシックス・レモンズのベースを弾いていた平野快次(写真)はこんど秋吉敏子(ピアノ)渡辺貞夫(アルト・サックス)平岡昭二(ドラム)とともに『平野快次とザ・グループ』を結成、新鮮な感覚と迫力を旗印に新春を期して発足した



デフレ蔵開き
押さないようにご順にねがいます
—冀—

都々逸 石井きんざ選

逢えば強がりさらりとすて〻 惚れた未練身をさらけ出す　神楽坂・勝村家照代紫

知らぬ間におぼえた手管 稼業に染まる身が怖い　杉並・前田紫昭

思いこがれて見る人皆んな 偶郎のお顔に見えてくる　文京・木村いつ秋

今夜一夜で都は名殘り あすは田舍に嫁に行く　墨田・良坊

好きな女と泊った客も 宿の女中にやノーチップ　伊東・なか長

◇

憎いほど氣のつくお方で氣前がよくて 氣むずかしいのが玉に瑕　船橋・今井ちさと

都落ちしても添う氣があなたにあれば 地の果てだって付いて行く　選者

はと笛



▽…今はフリーの山根寿子、旧ろう中に正月映画の日活作品『月は上りぬ』と『人斬り彦斎』二本を撮り終えたために三ヵ日は全然のんびりできることになった『数年ぶりに自宅で落着けるわ』とニコニコのご機嫌だったが…

▽…それが伝わりすぎたか、元旦早々ノウノウと寝ているところを訪問客で叩き起されたのを皮切りに、三日間五十八人もの来客への挨拶でフウフウ、いまになって『やっぱりロケか劇場回りでもして家にいない方が楽だったわ』とコボしている

【写真は山根寿子】

金の椅子を狙って ⑩



甘いニュアンスを醸す

女学生氣質のお茶ッぴい

ジャズ 川島まり子

大そう難かしい年頃である、つまり大人ッぽく振舞っても、カマトトぶってみても、どっちもが板につかないという満十九歳、従ってジャズを歌っても感情の盛り上りになにか中途半端なものがつきまとうのもムリのない話、といってしまえばそれまでだが、そこにまた彼女のこれからへの期待がかけられる所以

横須賀生れの横須賀育ち、現在フランキー堺の楽団シティ・スリッカーズ専属のシンガーである

コロムビアが早速目をつけて『愛の泉』と『ハッシャ・バイ』の二曲を入れさせたが、これがなかなかいゝ出来で、日常の女学生気質まる出しのお茶ッぴい"マリッペ"からはちょっと想像のつかないニュアンスを醸し出した、本人は『単調な曲をやさしくきれいに歌う人が好き、たとえばエラ・フィッジェラルドとかビング・クロスビィとか…、あたし自身もどっちかといえば甘いスローな曲の方が好きなんで』といっている、この甘さが持ち味にまで成長すればこれもまた愉しかろうというものだ、望みをかける理由もそこにある(署)

芝居

『白石噺』の通し 前進座

○…国太郎、菊之丞の班で満員の盛況、車座になって茶碗酒もはずむ賑やかさ、『奥州白石噺』が珍しく『明神祭礼』『由比ヶ浜仇討』をつけ、筋もよく通って見ごたえがある、我蔵がこんどから加入して父与茂作と惣六で渋いところをみせ、志賀団七(喜三造)に斬られて信夫(菊之丞)が仇討を決心するあたり、階級色をにじませすぎるが印象的『吉原揚屋』は国太郎の宮城野があでやかで菊之丞とのイキも合い、『仇討ち』では姉妹に加勢する常悦(秀弥)ほか農民たちの協力も巧妙だが、後半はサラリ目に扱っている

○…岸田国士作、本谷富士夫演出『動員挿話』二幕は日露戦争当時、主人の出征に従わされる馬丁友吉(秀弥)を死んでまでも離すまいとする妻数代(大久保光代)の夫婦愛と戦争へのレジスタンスをえぐっているが、初演当時(昭和二年)の手心が影響して卑近感が薄い『三人片輪』は主人(菊之丞)いざり(秀弥)盲(喜三造)で国太郎の偽唖娘がよくしゃべるのを中心に一般向上乗だが、舞踊のお手並は今一歩というところ、吉祥寺研究所舞台にて(杏)



『奥州白石噺』菊之丞㊨と国太郎

ぶらり新春放談



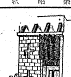
千円で遊べるキャバレー 『グランド浅草』

A 浅草ってところは庶民の気分がただよっているが、その気分を残しながらも、相貌を変えつゝあるね。時代がすすむのだから当りまえの話だが、松屋の七階にある『グランド浅草』へ行くとそれがよくわかる。大衆キャバレーの大衆化という感じの店だが、豪華で上品でモダンな点は銀座風といっていいね。今まではチップ制だったが、今年からビール二本、つまみ物つき、サービス料共で千円というシステムにした、千円で遊べる豪華キャバレーというわけだがこのあたりが浅草だね。銀座から地下鉄で十三分くらいだから行くのをオックウがることないね。

アベック天国 神田・渋谷『クラブ・パール』

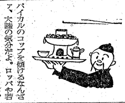
B アベックの天国を知ってるかね。宮城前だろうって? 馬鹿だな君は。あすこは夏だけだよ。どうだ、降参したか。それじゃ教えてやる。『クラブ・パール』だ。何、知ってるって。うそつけ千駄谷じゃないよ。神田だよ、今川橋電停前の竹中ビルにある。もう一軒おなじ店が渋谷にある。宮益坂のゼイタクな宮益アパート、お妾アパートともいうね、あのアパートの向い側にある。どっちもアベック天国だ。野郎だけで行っちゃダメだよ。フラリと行ってサービスガールを口説こうって料見は通用しないからな。黄色いテーブルが鮮かだが、赤い深々としたじゅうたんと、グレイのカーテンの配合が、何ともいえぬみごとさだ。ふたりでひっそり語りあいながらカクテルの杯をなめているのはいいよ。思い出すね。高かないさ。高かったら天国の夢もこわれるからな。一人五〇〇円でカクテル二杯か、ビール二本がつくんだ。それからもちろんフロアで彼女と踊ったっていいんだよ。別に料金はとられないよ。とにかく若い二人には永遠の思い出になる。若くない二人でもいいさ。

アラビア風喫茶 五反田『カザ』



B ちょっとしやれた純喫茶の話をしよう。場所は五反田、大崎橋際にある。名前は『カザ』というんだ。何、名前だけは知っているって? あっぱれ、あっぱれ、だけど『カザ』って何のことか知るまい。アラビア語で『町』のことだ。二階建の小じんまりした店だが、煉瓦づくりで、室内もレンガの壁だ。おちついた雰囲気の中に赤いイスがあって、とにかく何もかもアラビア風だね。お前アラビアを知ってるのかって? ずい分失礼だね。二階がまたいいね。低いテーブルに低いイスがあってね、まあイサム・ノグチの応接室といったところだ。このマッチに『お好きなコーナー一隅をお選び下さい』と書いてあるだろ。経営者のセンスがこれでわかるね。いい気分だよ。レコードもクラシックからジャズまで注文次第だ。

大陸風の餃子店 新宿駅南口『石の家』



A それじゃしゃれたギョーザの店を紹介しよう。『石の家』といって新宿駅南口、新宿松竹の横手にある。かど家だし、建物全体が鉄平石でつくってあるからすぐわかる。グルリとスタンドのまわりにすわって、ギョーザをさかなにパイカルのコップを傾けるなんざア、大陸の気分だよ。ロッパや若手の映画人がよく顔をみせるが、やはりこの気分がいいからだろうな。マダム以下みんな若く、キビキビ親切にサービスしてくれるのも気持がいい。下はスタンドだが二階は五〇人の宴会のやれる大広間がある。家族連れやシンネコ向きの部屋もあるよ。この野郎、目の色をかえたな。まあ、しかしタタミにすわって火鍋子(ホーコーツ)をつつく味は忘れられんな。中国風のよせ鍋のことだよ。

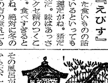
珍味は猪料理 神田電話局北角『えびす』

A こんどは変った食いものの話をしよう。変っているといっても実は日本古来の料理だがね。猪だよ。昔からの珍味だ。味はあっさりしていて、そのクセ精のつくこと無類という肉だ。食べすぎると鼻血が出るというね。絶対に冬の食べものだが、あの方の衰えにもアヤシゲなホルモン剤をのむよりどれほどいいかわからぬ。堅虚の殿様が猪を食いたいといって側近をテコずらせたという話まであるよ。スキ焼にするのかって? だからシロウトは困る。スキ焼で食うのは下の下だね。こいつはどうしたって『巻狩焼』で食わぬと本当の味はわからんね。つまり巻狩のその場で焼いたように焼いて食うんだ。スキ焼にするのは、タレの味でごまかそうって寸法だよ。そんなのはマズイ肉にきまっている。ただし巻狩焼となるとどこでも食えるというわけにはゆかないよ。教えてやろう。神田多町、神田電話局の北角にある『えびす』という店だ。焼き方は秘伝だそうだ。オヤジは堀川正勝というオッサンだが、廿数年間ホウチョウをだてに使ってきたんじゃないという心意気だ。

純日本風の酒亭 新橋北口『暫』

B 俺の番だな。日本調の酒亭を紹介しょうか。ワビとかサビとかだろうって? そんなワビシイもんじゃない。いうなれば元禄時代のケンランジュクした江戸文化のケンランたる豪華さだよ。どこのことだって? 新橋北口を出て電車通りを田村町寄りに行くと右側に甘糟ビルというのがある。その地下にある『暫』だ。名前からゆかしいだろう。全店を梅の花でかざって観梅の宴の気分、四十数人のあでやかな美人群がすべて黄八丈、黒えりというのも純日本調だ。ビルの中にあって、その気分なら高かろうと思うから、安物買いのゼニ失いというんだ、絶対に君の安給料でもアシを出すことはない。まあ怒るなよ。ホールもあるから、日本型美人を抱いて踊ったって別に損はしないよ。

すごいクッション 錦糸町『杵屋旅館』



A 旅館の話が出なかったのはおかしいね。都内に一万何千軒もあるというのに。珍しいのは錦糸町の駅から五分、四の橋手前を左へ入った隅田川の支流にのぞんでいる『杵屋旅館』だ。けっこう便利だし、環境も悪くないだろう。例のマークが出ているが、そのマークに恥じないように風呂場には気をつかっている。螢光燈もピンクの色で、ふたりでつかればタマシイここにあらずっていう寸法だ。その風呂がまた葉緑素入りとくるから天下一品だね。ワキガも消えるし、かの女の変な口臭もなくなるよ。ハダもスベスベになるね。それでお床入りというわけだが、テヘッ、もうよだれを出してやがる。こんどしゃれた洋室をつくったが、このクッションたるやすごいね。これ以上は自ら行って実見することだな。